

経済安全保障を支える自律性の高い政府情報通信基盤の確立に資する 防災LAN構築による災害対応高度化事業

R8-05
(国土交通省)

事業の目的・概要

【R8配分額：29百万円】【実施期間：R8～R10】

<① 解決すべき経済安全保障上の具体的な課題>

- 国土交通省では、我が国の災害・危機管理対応を強化するべく、関係省庁と連携し、中央省庁、指定行政・公共機関や自治体等を相互に結ぶ、**光ファイバと多重無線を組み合わせた自営の非常通信網を整備・運用し、政府情報通信基盤の一端を担っている**。この非常通信網は、国民の生命・財産を守り、国家機能を維持するための中核的な基盤であり、**災害対応等での迅速な情報収集・意思決定を行う上で必要不可欠な公共インフラ**である。
- 一方、近年のクラウドサービス等の進展に伴い、**災害対応等においても民間サービスの活用も進み、海外技術や特定事業者に依存しつつある**。特に、大規模災害のような非常時には、通信輻輳やサプライチェーン途絶等によって民間インフラのみならず最後の砦である非常通信網も機能不全に陥った場合、国家の災害対応能力そのものが喪失し、国民の生命・財産が脅かされるのに加え、経済危機に発展する危険性がある。また、ネットワーク技術は、**海外技術が優勢となっており、海外技術への過度な依存は経済安全保障上の課題**でもある。

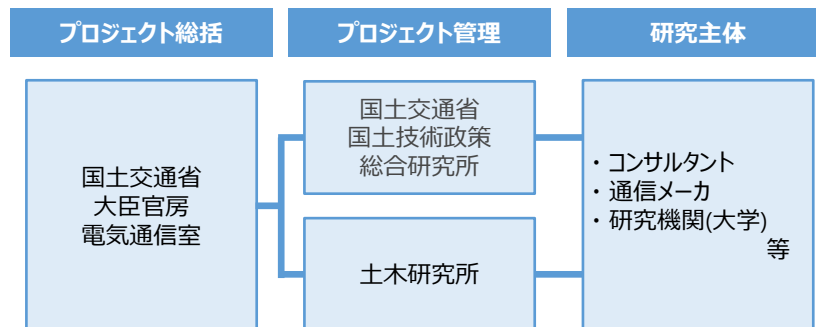
<② 本ES-X事業支援による①の解決への具体的な貢献>

- **国内メーカ等におけるネットワークの開発を促し、公共調達としてその技術を導入**することにより、**海外技術に依存しない自律性の高い政府情報通信基盤（非常通信網）を整備・運用**することが可能となり、**国民の生命・財産の保護のみならず経済安全保障の強化**を図ることができる。

主な研究等内容

【テーマ】非常通信網の信頼性・可用性・安全性の向上に資するネットワーク制御技術に関する開発

実施体制



事業イメージ（全体像）

